



令和6年2月5日 <2月号>

〒929-0325

石川県河北郡津幡町

字加賀爪又6番地1

TEL 076-289-2213

FAX 076-288-5535



有終の美を飾る

3年生は、2月1日（木）に私立高校一般入試が行われました。大変お疲れ様でした。しかしながら、6日（火）が公立高校推薦入試、3月6日（水）7日（木）が公立高校一般入試と、まだまだ踏ん張りの期間が続きます。そして、いよいよ9日（土）が卒業式となります。9日以降にも、定時制、通信制課程の入試もあります。一人一人が義務教育終了というゴール、そして新たな旅立ちに向かって、残りの日々を、共に励まし合い、高め合い、助け合いながら、「最高のフィナーレ」を仲間、先生方と一緒に迎えよう。



2年生は、2月1日に立志式がありました。立志の主張では、國崎哲世さん、藤本茉優さんが代表として発表しました。國崎さんは、『「誰にでも優しく接することができる人間」になるために、「相手の立場に立って考える」「自分自身を大切にすること」、この2つのことを大切にしながら学校生活を過ごし、自分が目指す姿「本当の優しさ」が自然とできる人になることができるよう、多くの経験を重ねながら人間性を磨いていきたい』と語りました。藤本さんは、『冒頭で「楽しいから笑うのではない、笑うから楽しいのだ」というアメリカの哲学者・心理学者のウィリアム・ジェームズの言葉を紹介しました。小1から始めた陸上競技で、記録が伸び悩んだ時期に、「辛い時こそ笑顔」を意識し練習に励む中で、目標達成のためには、パフォーマンス的に改善することも必要だが、自分自身の行動や表情を見直すことの大切さに気付き、人間性の高い選手、周りから愛される選手になるために、明るい挨拶、笑顔でコミュニケーションを日頃から意識して、「当たり前」でできるようになりたい』と語りました。立志式での皆さんの姿、授業等での姿から一年間の成長を感じています。立志式を一つの節目として、一人一人が「最高学年としての誇りと自覚」をしっかりと意識して、今年度を締めくくってください。

1年生は、2月1日に「働く人に学ぶ会」を行いました。講師の方々の経験に基づく生きたお話から、「働くということ」「仕事」「職業」の意味を考える大変有意義な機会となったことだと思います。また、事前準備から当日の全体会及び分科会の運営において、各役割を一人一人が責任を持って務めていた皆さんの姿を拝見し、大変頼もしく思いました。もうすぐ新1年生を迎えることとなります。「先輩としての自覚」をしっかりと意識して、1年生としての学校生活を締めくくってください。



2月1日は、令和6年1月1日の16時10分に発生した能登半島地震から一か月でした。今なお多くの方々が避難生活を余儀なくされ、他の地域に一時避難し、学校生活を過ごしている多くの仲間がいます。私たちは、当たり前の日常を過ごせることに感謝して、学校生活を大切に送っていきましょう。